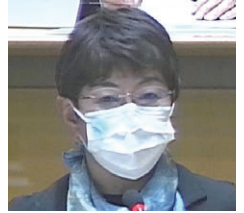


QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問の動画が視聴できます。

日本共産党
議員団
勝川志保子



市民要望の高い補聴器の助成 制度の創設を早急に

Q 先の議会に請願署名も提出された補聴器購入助成制度は、県内でも広がっている。聞こえに関する調査等を行なった上、早急に制度創設の検討をすべきと考えるが見解を伺う。

実態調査や他市の導入状況を 踏まえ創設を検討していく

A 昨年、市民団体の皆様と意見交換の場を設けるとともに、高齢者に対し、聞こえについての予備調査を実施しました。今後、より多くの市民に対して状況把握を行います。高齢者実態把握調査の中でも、「聞こえ」に関するアンケートを実施します。それらの結果をもとに、すでに実施している市町等の導入状況を踏まえ、補聴器の購入助成制度創設を検討していきます。

木育を取り入れた子育て 施設整備を

Q 駅前西街区は民間への売却時、子ども館の計画があり市民は期待していた。コロナの影響もあり子育て関連施設計画は縮小されている。木育を取り入れた子育て施設を整備し、駅前活性化と子育て支援の相乗効果が図れないか伺う。



美術館の
美ちゃん木育広場
おもちゃ館の
ももちゃん木育広場
焼津おもちゃ館
(ホームページより)

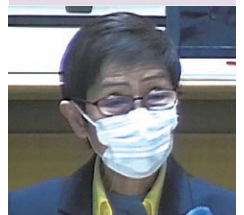
子育て世代の要望や意見を事 業者に伝え、協力していく

A 駅前に民間活力による子育て関連施設が整備されると伺っていますので、子育て世代からの要望や意見を事業者にも伝え、相互に協力していきます。木育については、子どもが木に親しむ良い機会と考えますので、子育て支援拠点等に取り入れることができるか研究していきます。

【その他の質問事項】

・市民に活用される22世紀の丘公園の在り方について

市民派・
公明倶楽部
窪野愛子



「私の健康人生設計ノート」 市民の利活用への広報啓発は

Q 超高齢社会における尊厳ある終末医療の在り方などに活かしていくために、ノートの利活用状況や効果を検証する必要もある。今後の市民への普及や利活用について伺う。



私の健康人生設計ノート

ホームページの見直しや市公 式ラインで情報発信をした

A 本年度は世代を超えたPRを図るため、配布場所やホームページ内容を見直したほか、市公式ラインで情報発信しました。自身の健康・医療のことや終末期の過ごし方などが、このノートを紹介することで早い段階から家族などと共有しやすくなります。今後は、「アドバンス・ケア・プランニング※1」や、「エンド・オブ・ライフ・ケア※2」

などの取り組みと連携を深め、活用していきたいと考えています。

※1 人生の最終段階の医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うこと
※2 年齢や健康状態、診断名を問わず、最期まで、その人らしく生きることができるよう支援するケア

22世紀の丘公園内に乳幼児 等の水遊び場所の創設は

Q 水遊びを通して五感が刺激され、バランス感覚や身体能力が養われ、水の面白さや怖さを体験的に学べるなど、効果が期待できる乳幼児等の水遊びの場所の整備について伺う。

現在のところ水遊び場の整備 は考えていない

A 乳幼児等の水遊び体験の場について、現在のところ、22世紀の丘公園への整備は考えていません。しかし、期間限定で仮設のプールを設置している事例もありますので、指定管理者と連携し、安全面も考慮しながら乳幼児用の水遊び場についても実施の可能性を研究していきます。